

3.2 訓練管理

<本節の構成>

	何を	誰が	いつまでに
3.2.1	当日の体制・対応について最終確認を行う	訓練指揮者	1週間前
3.2.2	訓練の管理を行う	訓練指揮者	当日

3.2.1 当日の体制・対応について最終確認を行う

訓練指揮者は、訓練1週間前までに、訓練当日の運営等に関する最終確認を行う。また、状況に応じて、事前説明会を実施する。

手順・留意点

- 訓練対象者に加え、訓練指揮者のもとに、管理機能、評価機能のそれぞれの体制が確立していることを確認する（図3-1参照）。
- 訓練当日の訓練の流れを関係者でイメージしながら、策定した訓練直前 ToDo チェックリストに基づき、訓練運営上の抜け漏れ等について最終確認を行う。
【訓練当日の運営業務（例）】
 - ・ 各訓練会場における状況開始・終了の条件
 - ・ 訓練評価で予定している評価チェックシート等の配布・回収
 - ・ 後片付け 等
- 訓練効果を高めるために、状況に応じて訓練対象者向けに事前の説明会を実施する。
- 総合調整は、この段階から気象予測情報を定期的に収集し、悪天候時の対応（中止・中断条件の確認、住民や要員輸送のバックアップ手段等）を準備しておく。

3.2.2 訓練の管理を行う

訓練指揮者及び管理機能に属する担当者は、訓練当日において、総合訓練の管理を行う。

手順・留意点

- 訓練の管理の責任を持つ、訓練指揮者は、訓練対象者の対応状況を俯瞰し、管理機能を担う担当者（要員）に必要な指示・連絡を行う。
【管理機能が担う業務（例）】
 - ・ 安全管理は、訓練対象者の活動を監視し、安全な環境に影響を及ぼす状況が発生し

た場合には、訓練指揮者の判断のもと、訓練を中止する。

- ・ 広報は、訓練に関する広報資料の作成及び配布を行う。また、公式スポークスマンとして、訓練指揮者の支援を行う。
 - ・ 進行管理は、訓練全体のスケジュール管理を担う。訓練対象者による活動が大幅に遅延している場合、訓練の狙いどおりの検討がなされていない場合は、状況に応じて訓練対象者へ働きかける。
 - ・ 状況付与は、基本的には状況付与計画に基づき行動し、不測事態発生時には進行管理担当に迅速に報告する。
 - ・ レスポンスは、状況付与カード及び訓練実施規定の内容を把握した上で、訓練全体の整合性、他の関係機関から参画するレスポンスと連携しながら対応する。全体の訓練シナリオに影響するような判断事項は、総合調整の指示に基づき対応する。
 - ・ 運営支援は、必要な資機材を調達し、配付・設置を行うこと、訓練参加者の移動手段を手配する。
- 訓練当日の天候の悪化や災害の発生、訓練中の事故等の不測事態における対応は、訓練指揮者が判断する。総合調整は訓練指揮者との円滑な連絡調整に努め、訓練指揮者から指示が発生した場合は速やかに指示伝達を行う。
 - ✓ 訓練指揮者は、管理機能及び評価機能の総合指揮者であり、訓練全体の運営に関して、外部環境や各機能からの報告、対応状況等を踏まえた総合的な判断を行う。
 - 訓練対象者の行動により訓練の進行に支障が生じないように、訓練が本筋から外れないように留意し、また、本筋から外れた場合は進行管理が介入し、措置を行う。
 - ✓ 訓練が本筋から外れ、以降の全事象が混乱する可能性がある場合は、進行管理の責任者を介して総合調整の判断を仰ぐ。
 - ✓ 逸脱に対処する1つの方法として、状況付与が追加情報を付与し、シナリオをあらかじめ計画された状態に戻す方法もある。

1
訓練
計画

2
訓練設計
作成

3
訓練
管理

4
訓練
評価

5
訓練後
改善